



国鉄新潟

NO. 708
発行
10・10月30日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部



雇用の問題全力で取り組む

第63回定期地方大会が10月16日新潟地方本部会議室で10時より開催されました。

開会前に、冒頭、秋元函館闘争団員が新潟でオルグ活動中に亡くなられました。そのことに対して出席者全体で黙祷を行いました。

上石副委員長 開会あいさつ

開会あいさつでは、上石副委員長から「新しい事務所での初めての大会となった。いろいろな課題を抱えているので、ここを拠点として、団結を強化して取り組んでい



かなければならない」とありまし

議長は、福富代議員が選出されました。その後、関川委員長のあいさつ・来賓の方々のあいさつ・そして、函館闘争団・坂野団員か



らあいさつがありました。そして国労東日本本部武笠執行委員のあいさつがありました。午前中に方針提起され、午後から質疑討論に入りました。



関川委員長 あいさつ



新事務所での第1回の大会を開催することになった。秋元さんは、オルグ活動中に、ここの場所、旧下越事務所で亡くなられた。

1047名JR不採用事件が政治解決されたことに対し全員で改めて確認したい。雇用の問題については具体的に進んでいない。政府による正式にJRへ要請はしていない。年末、年度末に向けて最重要課題として全力で取り組んでいく。23年間の闘いの決着をする。

新しい事務所が、旧下越事務所跡に建てられた。全国的に今の情勢の中で新しい事務所建設は無いと思う。ここを拠点として運動を展開し新しい仲間を迎えよう。

エリア大会で労働協約について議論がされたが来年のエリアの定期大会で判断していこうと考える。重要な問題だ。

民間企業では、平均年収が405万9千円で1949年以降調査した中で最大の減少(23万7千円)、厳しい実態が報告されている。働くものの権利について、労働組合が闘っていくことが重要となってきている。

3月までに解決を



函館闘争団 坂野団員あいさつ

秋元がこの場所でも亡くなった。旧下越事務所跡に新事務所が建設された。何か意味深いものを感じる。23年間のJR不採用事件の問題は雇用が解決していないので全面的な解決になていない内容は十分だけれども23年間の長期の闘いや、36闘争団のことを考え、和解を委託、臨時大会で承認となった。その後、最高裁で

和解となった。配分交渉については、次回3回目の会議が11月3日に開催、最後にしたいと考えている。雇用については、年内JR各社の回答を引き出して年度内には解決をめざしていく。これからも御協力をお願いしたい。

現在・平均年齢は63歳

配分が、されていないので、現在もアルバイトなど自活生活をしている。分割・民営化された当時は平均年齢は38歳だったが、現在は63歳になった。闘争団は国労組合員としての立場で頑張っていく。3月までに雇用の問題の解決に向かえばいい決意だ。

エリア本部 マラソン大会

第15回国労東日本本部マラソン大会が開催されます。
12月11日
皇居外周のマラソンコース



武笠執行委員 あいさつ

国労東日本本部・武笠執行委員から情勢報告など、あいさつがありました。

JR採用事件について

現状は配分はされていない。ひとり2200万円の配分については、



公平・公正に作業しているので遅れている。なるべく早急に配分を。参議院選挙後について、政治的窓口・担当者が変わってきている。これから要請行動など議論していく。雇用希望者については、JRへは184名関連会社へは32名が希望している。この数字を政府をとうして求めていることが最大の課題だ。地域でも報告集会の開催や、地域共闘との共同の取り組みを強めていく。

組織拡大について

定期大会以降3名の拡大があった。一括和解以降、国労への加入が増えている。しかし、それ以上の退職者の数が増えている。新採者の加入はあるが東労組へ大幅に加入している。会社側に対して

申入れやコンプライアンスなど強化していく。拡大をどう取り組むのかエリアで地方組織部長会議を開催し意思統一を図る。拡大を中心に据えて運動を展開していく。



安全・安定輸送 職場総点検運動について

会社は非常事態宣言を解除したがグループ会社社員が亡くなった。職場の現状などもう一度見直ししていく。検修の外注化について、一月、二次解明から運動が見えてこない。会社側は確実に準備を進めている。時期はわからないが、今後の外注化について交渉を強める。

ボーナス交渉について

10月14日に業務部長会議を開催、3・5カ月の要求で12月3日支払いを、10月21日、いっせいに申入れを行う。その後、交渉を強化していく。職場の闘いをつくっていく。

労働協約について

エリア本部では、定期大会で労働協約について会社側と協議したいという方針を提案した。何を求めているのか検討している。

11月18日、地方書記長会議までに討議資料を作成する。職場・機関について資料を提示する。11月25日に業務部長会議を開催し労働協約は何かを提起する。

など武笠執行委員から詳しく報告されました。

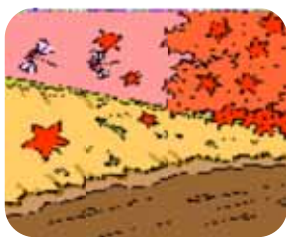
大会は、午後から質疑討論代議員の発言は全体で12名ありました。約2時間の質疑討論があり、書記長集約、そして関川委員長の団結カンパロウで終了しました。大会終了後は、懇親会を開催しさらに団結を深めました。

山脈集 推薦作品

編 松白 選

うば捨ての道を無料とする開議	嶋屋 孤舟	台風が来ると野性が目を覚ます	三村 悦子
背投着のままの物差し置いておく	正司 珠梨	重運で走り続けてきた夫婦	吉野 和夫
友の卦や地球に大きな穴があく	大島 忠成	待つ人の居るしあわせを知りました	平田 恵
正論を吐くと耳立つ敵味方	藤井 柳昇	どの嘘も大本営を超えられず	間 弦月
バラの香に酔いて花井の緑歩く	石原 恵美子	ユーモアも美意識もある遺書を書く	藤井 比呂夢
まあだまだ根性はある紙こより	伊東 マコ	閃光の阿修羅を手折る千羽鶴	澤 藤 善穂
亡母さんが来ているらしい灯がゆれる	野村 穂波	雑草と格闘長袖日焼け止め	高橋 純子
ひと音でいえばの後が長すぎる	太田 健次郎	軋み音明日の自分を問い直す	田中 寿々夢
炎天の枕木味方だと思っ	田中 道博	平凡が好きでこの地に根をおろす	梶野 正二
凧と立つ回天舞地に白い波	麻生 秋則	悔しさのじむパンザイ強いられる	佐藤 康

今回は、「鉄道川柳」平成21年11月号の山脈集推薦作品を特集しました。
ぜひ、組合員・家族・退職者の方々の作品も特集していきたいと思えます。よろしくお願ひします。地本教宣部までお寄せください。



代議員の発言内容は、次回の「国鉄新潟」に記載します。よろしくお願ひします。

